

# 教室だより

No. 3 6月号



令和8年5月29日  
江東区立南陽小学校  
ことばときこえの教室  
TEL 3649-3464

汗ばむ陽気と雨空に、初夏の訪れを感じる頃となりました。紫陽花も少しずつ色づき始めています。じめじめとした日が続く、体調を崩しやすい季節です。手洗いや汗ふき、こまめな水分補給を心がけ、元気に梅雨を乗り切っていきましょう。



## < 6・7月の行事予定 >

月	火	水	木	金
6/1 研修会のため ☆1 梓指導休み	2	3	4	5
8	9	10	11	12
15	16 南陽小開校記念日 のため ★終日指導休み	17 第1回 きこえグループ活動 ☆4 梓指導休み	18	19
22	23	24 第2回 入級退級委員会 ☆4 梓指導休み	25	26 専門家診断のため ☆午後の指導休み
29	30 専門家診断のため ☆午前の指導休み	7/1 第1回 ことばグループ活動 ☆4 梓指導休み	2	3
6	7	8 前期・前半個別指 導終了	9 南陽小・理解啓発授業 (2年・4年)	10
13	14	15	16	17

※夏休み明けは9/2(水)から指導が始まります。

## 今年度の主な行事予定

- 10月 保護者面談月間
- 11月24日～12月14日 発表会週間
- 1月 保護者面談月間
- 3月1日～5日 おわりの会週間

## 理解啓発授業を行います

7月9日(木)

本校の2年生と4年生に向けて、理解啓発授業を行います。「ことばときこえの教室」や「難聴」について、それぞれ体験を通して、理解を深め、思いやりや優しさの気持ちが育つことを願っています。校外通級のお子さんの在籍学級でも、理解啓発授業のご要望があれば、お声かけください。



## ～きこえにくいお子さんに対する理解や支援～



難聴のあるお子さんは、日常生活の中で音が小さかったり、歪んだりして聞こえます。補聴器や人工内耳をつけていても音が明瞭に聞こえず、一生懸命に聞いていても周りの環境によっては聞き逃したり、聞き誤ったりすることが、しばしばあります。話し方や視覚情報、教室での座席や水泳指導などでの配慮をお願いいたします。

子供たちの聴力やニーズは、一人一人異なります。子供、保護者、通級の担当者と一緒に、できる支援や配慮について考えたいと思います。

ご不明な点がございましたら、ことばときこえの教室にご相談ください。



### <座席について>

- 先生の顔や手本となる友達の様子が見えやすい位置で、中央の前から2,3列目くらい。(聴力に左右差がある場合は、聞き取りやすい耳が先生に向く座席がよい。)
- 騒がしい場面では、話している人の顔や口元が見える位置の方が聞き取りやすい。
- 聞き取り課題の際は、周囲の雑音を減らし、音源の近くか、別室を準備することが望ましい。

### <話し方について>

- 話し始めが分かるように、注目させてから話す(特に作業に集中しているとき)。
- やや大きな声で、口元を見せながら、はっきりと短い文で話す。
- 身振りや手振りがあると分かりやすい。
- 話し合い活動では、一人ずつ話すと、誰が話しているのか分かりやすい。

### <視覚的な情報>

- 大切な指示や授業内容などは、絵や文字(板書)などで示す。
- ☆視覚的な情報は、さまざまな場面で有効。
- ☆その他、静かな環境作り(机やイスの脚にテニスボールを付けるなど)や情報保障(要約筆記やメモ、情報支援機器・ロジャーなど)も有効。

### <水泳指導について>

水泳指導の時期に入ります。プールでは、補聴器や人工内耳を外す場合があり、さらに指示が聞き取りにくくなります。

- 補聴器を外したら、どこに置く(誰が預かる)のか、管理について、児童と学級担任、保護者で共通理解を図る。
- 教室で活動の流れや学習のルールを確認する。
- 整列する際は先生の近くにする。
- ホワイトボード (例:これからの活動内容を文字で示す)  
ハンドサイン (例:指で1を出したらプールから上がる)  
ジェスチャー (例:バタ足・戻るを両腕で表す)  
旗 (例:プールから出るときは振る) などの合図を活用する。

